児童に見られるつまずき

　同じ数ずつ配るなどの場面を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　数図ブロックを操作し、それを絵や式を用いて表して説明する活動を通して、「○個ずつあげる」ことの意味について理解を深めさせる。

指導事例集ｐ．３３

１　学年・単元名　　第１学年　　同じ数ずつ（数と計算領域）

２　単元目標

　　○具体物をまとめて数えたり等分したりし、それを進んで整理し表そうとしている。

（関心・意欲・態度）

 　 ○まとめて数えたり等分したりして、乗法や除法の素地的な見方で考えることができる。

（数学的な考え方）

 　○乗法や除法の素地となる数図ブロック操作ができ、それを絵や式にかいて確かめることができる。

（技能）

 　 ○数図ブロック操作を通して、乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味を理解できる。

（知識・理解）

３　単元の内容

　・**同じ数ずつ集める活動**

ワークシート３・４使用

　・同じ数ずつ分類する活動

４　本時の目標

同じに分ける分け方として、同じ数ずつ分けたり、何人かに等分したりすることができる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| つかむ | １　本時の問題を把握する。子どもが３人います。みかんを１人に２こずつあげます。みんなでなんこいりますか。１人に２こずつあげると、みんなでなんこいるかをかんがえよう | ・問題文を読み、場面をイメージする。・**「ずつ」という言葉に着目するようにアンダーラインを引かせる。**・問題場面を把握させるために自分のことばで場面を説明させたり動作化させたりする。 |
| 考える | ２　数図ブロックで操作しながら考える。・数図ブロックで操作したことを絵や図にかく。ワークシート１使用・立式する。参考：授業の様子、記入済みワークシート | **・２個ずつブロックを動かすことにより、２個ずつあげることのイメージを持たせる。**・みんなでなん個だから、どの部分が答えになるのかを見つけさせる。・**１人分、２人分と意識させながら絵で表現させる**。・**数図ブロックの操作、絵や図をもとに立式させる**。 |
| 話し合う | ３　グループで話し合う。・数図ブロック、絵や図を使って自分の言葉で説明する。４　全体で話し合う。参考：板書 | **・数図ブロックを操作させたり、絵や図、式を指さしたりしながら考えを伝えさせる。**・グループで話し合ったことを全体でも交流し合い理解を深めさせる。 |
| 確かめる | ５　類題を解く。　３人の子どもにあめを5こずつあげます。みんなでなんこいりますか。参考：板書、記入済みワークシート６　学習の振り返りをする。 | ・数図ブロックを操作させたり、絵や図を書かせたりして立式させる。ワークシート２使用・わかったことやがんばったこと、友だちのよかったところなどを伝え合う。 |